



長照寺だより

# わげんあいご 和顔愛語

浄土真宗本願寺派(西本願寺) 摂取山 長照寺 静岡県三島市徳倉1195-817 電話055-988-4242

URL <http://cyoshoji.or.jp> E-mail: [info@cyoshoji.or.jp](mailto:info@cyoshoji.or.jp)

※ホームページ及びメールのアドレスが変わりました。



報 恩 講 平成17年11月20日

きょうけ けつじょう  
教化するひと まづ信心をよく決定して  
そのうへにてしょうぎょう聖教をよみかたらばきく  
ひとも信をとるべし

(蓮如上人御一代記聞書より)

# カナダ開教百周年慶讃法要

カナダ研修旅行(八月二十日〜二十七日)

門信徒会世話人 齊藤善治



みに待つたものである。

カナダへの旅は、日付変更線をまたぎ時間を十七時間逆戻りするもので、最初の訪問地レイク・ルイーズに着いたのは、出発日と同じ日の夕方であった。地球の自転に逆らって飛行した不思議な感覚を先ず味わった。

観光の中心になったカナディアンロッキーは、火山ではなく海底が隆起して出来た堆積岩の山々である。その山肌は、氷河時代の氷河によって深く削られ鋭く切り立っている。その切れ目に今も残る氷河から流れ出る融水が沢山の湖を形成している。

最初に訪れた湖レイク・ルイーズは急峻な谷間に、エメラルドグリーンの穏やかな湖面が広がり、その美しさに見とれるばかりであった。また、湖畔を散策すると、何度も小さなリスが現れ私達と二瞬目を合わせては姿を消し、また鳴きウサギの声と姿を見つけては飲び合った。湖面には、カヌーが軌跡を残しながら進む姿を見られ、雄大な風景のアクセントとなって一層美しさを際立たせている。まさに「ロッキーの宝石」と呼ばれるに相応しい美しさであった。次に訪れたのは、コロンビア大氷原、森林限界と言われる二千二百メートルを超えて、草木の無い氷河までバスで上るのである。自然保護が徹底しており、途中の道路は動物が出てきたらバスの方が停止するとの説明。早速、野生の子熊が二頭現れバスが停車した。道ばたの野いちごを食べている可愛い仕草に皆が飲びの声を上げた。

バスが進むにつれ、気温が下がり道端の木々が黄色になり秋の景色である。

更に上ると今度は、ミゾレから小雪に変わって一気に冬の景色が出現した。コロンビア氷原の中のアサバスカ氷河に到着した時は肌を刺すような寒さである。眼前に巨大な氷河が広がってその姿は圧巻である。氷河は、幅約一キロメートル、厚さ約三百メートル、長さ六キロメートルと巨大である。氷河の上には立つには、直径が約一・五メートルもあるタイヤを持つ雪上車に乗って上って行った。氷河は下方に向かって少しずつ動いているとのこと、氷上に降り立ったときは、氷河時代の歴史の上に乗ったような不思議な感動があり、心が洗われる思いであった。氷河は水が凍ったものではなく、降り積もった万年雪が圧縮されて氷になったものである。表面は平坦ではなく沢山のコブがあつて荒々しさをみせており、遠くから見ると姿とは違ったものであった。

足元に目を移すと、氷が少しずつ解けて流れ出ており、氷が青白く輝いて見える。その神秘的美しさに感動すると同時に、その神秘の氷水を手ですくって飲んで歓声を上げた。正にこの旅のクライマックスであった。

最終日には、バンクーバーで行われたカナダ開教百周年記念法要に参加した。私達のテーブルに同席した現地女性は、日系二世の方と思われるが日本語で互いに話をしていて、その内の一人は住職の娘さんがホームステイをしたお宅の方だと分かった。不思議なご縁に巡り会わせたことに感激した。

異国に渡った人達の苦勞は、今回戴いた「思い出話と記念法話集」を読んで知ったが、こゝでも浄土真宗の教えが、生きる力になったことを知り、これからは国を超えた交流が広がることを願いたい。

この旅では、圧倒される様な大自然の雄大さに触れ、又戦前にカナダに移住した同門の人達の人情に触れることができました。私にとつて本當に記念となる研修旅行になりました。同行の皆様、有り難う御座いました。



レイモン湖山頂

# カナダ開教二〇〇周年七日間の旅

門信徒 今瀬路子



八月二十一日、長照寺十一時三〇分発貸切バスにて十七名一路成田空港へ出発しました。十七時二十五分

きました。氷の厚さ三〇〇メートル以上あると言う。水はとも冷たく、カナダはとにかく美しい山・湖・滝・氷河の多所です。  
バンクーバーで百周年の法要があり、会食は外でテントを張り、その中でバイキング形式でした。前に座られた方は、お母さんは日本人で和歌山県出身の娘さんは二世で、日本名はのり子さんと言います。旦那様はカナダ人でとても幸せそうな夫婦でした。私達も楽しいひと時を過ごしました。

発が少し遅れ四〇分頃エアーカーナダで約九時間でバンクーバー着、乗り換えでカルガリー着。バスで三時間乗り、レイクルーズ着。

ヨーホー国立公園の中を通り、ロッキーマウンテンを見ながら雄大な氷山にみとれながら、ようやくシャトーレイクルーズホテルに着きました。

その間の時差が十五時間、ホテルの部屋から見るロッキーマウンテンの宝石と言われる美しい湖、正面に見えるビクトリア氷河、湖畔に建つ素敵なホテルです。大勢の人が散歩をしていました。

二泊目、旧二十ドル札の裏側に描かれているモレイン・レイク、カナダを代表する湖などを見学しながらコロニア大氷原へ雪上車で氷河の上まで行



雪上車の前で

インディアンにとって家紋のような役割をもっていると言うトーテムポールを見学、白い湯気上げる蒸気時計を見に行き、とても楽しいカナダの旅でした。皆様にお世話になりました。



トーテムポールと  
住職

# 活動報告

平成十七年下期

## 境内清掃作業・親睦懇親会 七月二十四日

今年も百名以上の参加者があり、暑さの中、作業後のスイカがとてもおいしかった。

## 合同盆法要（計八回） 八月十三日～十五日

お寺で法話をゆっくり聞けました。

## 北米開教百周年大会 八月二十一日～二十七日

開催地カナダ・バンクーバー 参加者十七名

## 秋季彼岸会法要 九月二十三日

今年も沢山の方が法要に参加されました。お勤めの後、今月初の試みで落語の寄席が催されました。抱腹の連続でした。笑いは健康に良いそうです…。

「落語二人会」 桂 平治（真打ち）

三遊亭 遊馬（二つ目）

## 親睦ゴルフコンペ 十月二十日

富士エースゴルフ倶楽部

参加者二十七名

優勝 吉川安敏さん

## 静岡東組門信徒の集い 十月二十六日

下田にて 参加者二十一名  
一年振りの門信徒の集いでした。組長（善教寺）様のお話は、来る平成二十四年親鸞聖人七百五十回大遠忌についてでした。心してお参りしたいものです。

## 門徒総代・世話人会研修会 十月二十二日

築地別院 参加者七名

## 七五三参り（恵みのお参り） 十一月五日

成長の慶びを仏様に報告し、感謝するお参りです。

斎藤千波ちゃん（七歳）

平成九年十一月三十日生

斎藤奈月ちゃん（六歳）

平成十一年八月六日生



## 報恩講

百五十余名 十一月二十日

報恩講とは、親鸞聖人のご遺徳を偲ばせて戴くお参りです。聖人がいらしやらないければ、浄土真宗はなく、この長照寺もありません。又皆様とのご縁もなかったわけです。したがって最も大切なお参りと言って良いでしょう。

おかげで法要は満堂でお勤めさせて頂きました。午後の座談会及び楽しい茶話会では世話人の方々が心を込めて作ったけんちん汁をおいしく頂きました。

## 境内清掃作業

十二月四日

六十名以上参加。小雨決行でがんばっていただきました。ご苦労様でした。

## 除夜会

十二月三十一日

正信偈のお勤めで年越しをしました。除夜の鐘を打ち、甘酒で乾杯しました。



先日皆様をお願いいたしました、アンケートの結果をお知らせします。

・配布数	567件
・回収数	340件
・回収率	59.9%

### ◎アンケート内容

お寺(仏様)とは、どのような所だと思いますか？

①亡き方(仏様)を供養するところ	173件	36.3%
②生きている方が、学びを深めるところ	206件	43.2%
③葬儀や法事を行うところ	95件	19.9%
④その他(全人類の心の救済)	3件	0.6%

(困ったり悩んだ時、相談に乗ってもらえるところ)

(御法話を頂き、人間性を高める)

※重複回答有り

※アンケートご協力ありがとうございました。皆様のお寺に対する  
思いを知ることができ、教化活動に役立っています。 住職記



## 今後の活動予定

1月4日(火)	修正会および新年会	本年度は中止
2月11・12日	仏教壮年会	伊豆の国市
2月12日(日)	寺報(第15号)発行	
3月21日(火)	春季彼岸会法要	長照寺本堂
4月2日(日)	祝入学・入学慶讃法要・ 釈迦降誕会・花祭り・ 門信徒お花見会	長照寺本堂 境内
4月21日(金)	門信徒親睦会ゴルフコンペ	未定
4月9日(日)	門信徒親睦ボウリング大会	ジョイランドみしま
5月6日(土)	門信徒会定期総会	長照寺本堂
5月7日(日)	門信徒会運動研修協議会 (門信徒の集い、仏壮・仏婦研修会) 講師：永 六輔氏	寶専寺
5月13～14日	門信徒会親睦研修旅行	京都方面
5月 日	静岡東組組会・総代研修会	未定
7月9日(日)	寺報(第16号)発行	

※各行事は、予定ですので、その都度、寺から案内を送付します。  
 ※定例法座は毎月第1土曜日 午後7時より本堂にて開催。  
 ※その他に親睦の集いを募集・計画中。

日頃の忙しさから解放されて  
 気持ちが軽くなる自分を発見  
 できるかもしれません。

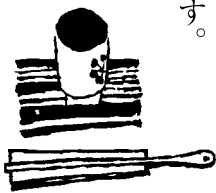
## 落語二人会

門信徒  
 田中勝男

本格的、東京古典落語二席  
 堪能されましたか！ きつと  
 初めて寄席の体験された方も  
 あったでしょうか？

演者のご案内の通り、三遊  
 亭小遊三門下の二つ目、三遊  
 亭遊馬と桂文治門下の真打、  
 桂平治の二者でした。平治演  
 ずる師匠ゆずりの「親子酒」  
 仕草に爆笑でした。

秋季彼岸会法要と法話の  
 あとの住職、門信徒会の御理  
 解のもと、この企画が実現し、  
 笑いの二時が出来た事への感謝。  
 これも落語家、演者による和  
 顔施と思います。



# 四国お遍路

門信徒 長島 芳枝



仲間のA様より四国八十八ヶ所お遍路の誘いがありました。

縁あって長照寺住職の法話を何回も聞いているうち、仏教の教えに感動を受けこの誘いにのることにしました。

事前に本を買い、大まかな内容を見ましたところ弘法大師の足跡を辿り各寺院の縁起を聞き巡拝する修行の旅と思いました。

二回に分け計十四日間の巡礼バスツアーに参加しました。現在は、交通網の発達で簡単に八十八ヶ所巡礼出来ませんが、昔は徒歩で難行苦行だったと思います。そこで「同行二人」（弘法大師がいつも一緒にいてあなたを守ってくれる）と書いた「ずた」袋をまとい、悩まず無心に仏様に心をゆだねると言う教え…。広い道はバスで、狭いところは歩き、時間に追われ参拝に明け暮れました。

最後に高野山に行き「満願之証」を受け取り達成感を味わい帰路につきました。

浄土真宗と他宗派との違いは多少あるにしても、お釈迦様（仏様）の教えは、人間はどのような生き方をすべきかを解く心の教えだと思いきらされました。そしてご住職のおっしゃる親鸞聖人様がいつも一緒と言われる意味も少し気付かされた旅でした。合掌



## 豆 法 話

### 数珠のかけ方



数珠は手にかかる最も身近な法具の一つであり、一般に広く普及しています。また念珠（ねんじゅ）とも言われます。一輪のもの（念珠）では親玉を下にしてかけます。座っていて手にもつているときは、左手に持ち、または左手首にかかけます。歩くときは、左手に持ちます。

### ごあいさつ



藤澤 直樹

此の度、ご縁を戴きまして平成17年12月より長照寺の執務に奉職致す事になりました藤澤直樹と申します。

尊い仕事として従事する事はもとより、わからない事ばかりですのでご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願い致します。

又、少しでも早く寺院行事に慣れ、門信徒の皆様方の為、力の限り働かせて頂く所存です。何卒宜しくお導きくださいますよう、重ねてお願い申し上げます。合掌



カナダ研修旅行



七五三参り(恵のお参り)

## お寺より

仏前結婚式、初参式、くわ入れ式（地祭り）、  
入園・入学・入社・成人式などのお祝い事  
全て報告のお勤め致します。

## 編集後記

☆お寺からのお便りは、家族皆さん必ず読んで  
頂く習慣をつけましょう。

☆お寺は「よろず相談処」です。  
日頃悩んでいる事がありましたら何でも  
ご相談下さい。

☆次回寺報は、平成18年7月9日発行予定です。

●ご意見・ご要望は、寺務所まで  
〒411-0044 三島市徳倉1195-817  
TEL・FAX055-988-3900  
編集人＝長島・菊沢・斉藤・園田

心の窓を開く

ラジオ法座

FM三島函南 77.7MHz

毎週水曜日

お話／当山住職

朝7時45分(5分間)

●法話をまとめた小冊子第5巻が  
発行されています。  
お尋ねください。